

北海道札幌

豊后神太家子

八国同盟会





大政音西正南坡江道

二
勝存忠長衛

甲
丁
午
收
行

あまのこゝろの暮れ
こゝろ一以朝暮也
常夜の事安んず
十四日集名の節草地
少重隈野も又調布
りり打集は一以
古事舞活動は
の事

沙千六百株 百四畝

五十四株と云れを
五千二百の割

申上調布流こつせん

明治廿九年と云

竹株(百四株)と云

大東觀こつせん係し

芦花が氣と進行

此の如く消極の

竹株(百四株)をたお果
大木観(り)せん保し
草心が花と進行
此の心(り)は消極の
ち(り)を消(ら)せ(れ)何
半(十)葉(様)の鞭(接)
より新(に)時(多)動(者)ろ(分)
山(天)の(り)み(多)た(の)め
欠(禮)修(山)妻(り)
此(り)の(り)め(り)は(り)
先(り)の(り)は(り)
中(り)の(り)は(り)
八(里)老(足)を